



ほ、えみ

《病院理念》

- 私達は院是「誠」の医療を推進いたします
1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
 1. 私達は自分の力で伸びて行こう
 1. 私達は私達の規則を尊重しよう



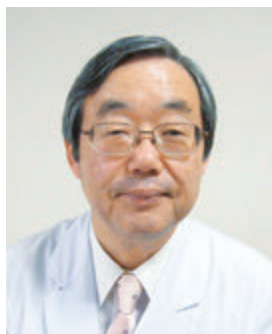
《基本方針》

1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします

腕を発揮されています。当院では今年「ドクターG」をお招きし闘魂外来&闘魂祭りを開催致します。

現在、NHK総合テレビの木曜日 22時から「総合診療医ドクターG」という番組が放送されています。指導医「ドクターG」と研修医3人のやり取りで番組が進められていきます。テレビに出演する「ドクターG」は、みな医学の知識が豊富であるとともに指導方法を十分熟知し手腕を発揮されています。

最近医療の進歩は目覚ましく、専門医や神の手などといわれる医師が報道されることが多くなっています。しかしながら、医療の本質は困っている患者の気持ちになつて病気に對抗することです。患者、家族、医師、看護師他メディカルスタッフはみんな仲間、敵は病気。みんなで一丸となり協力し合つて病気に立ち向かう姿勢が理想的な医療といえます。医療側と患者、家族が協調していくことが病気の治療にぜひとも必要です。



◆「ドクターG」とは？
ドクター Generalist(総合医)の略で、医師として患者に寄り添い患者の訴えを聴き、患者の気持ちになつて的確な医療をしようという医師のことをいいます。

「ドクターG」による 闘魂外来&闘魂祭り 開催について！

主催者 院長 古林 太加志

◆「闘魂外来」とは？

「ドクターG」による実際の医療現場における医学生教育です。医学部在籍5年生・6年生を対象とし、NPO法人「医桜」が全国の病院と共催しながら行われています。平成28年7月16日(土)午前中に十全総合病院外来で開催予定にしています。

当日医学生が診察致しますが、医学に優れた「ドクターG」が責任を持って診断治療にあたりますので、患者さんにも大いにメリットがあると考えています。実習として学生が診療する旨、ご了承及びご協力の程お願い致します。

お招きする「ドクターG」としては、今年1月7日NHKで放送された際の「総合診療医」徳田安春先生を筆頭に他4名、合計5名の布陣で「闘魂外来」を行います。

7月16日午後には「闘魂祭り(II症例検討会)」を行います。「闘魂」というと、レスリングを思い浮かべますが、当院にプロレスのリングにみたてたカンファレンス会場を設置し医学的な討論を戦わせ、真剣に勝敗を決する内容にしたいと考えています。

医師を志す若者に、楽しく高いレベルの医療を学ぶ機会を作ること、新居浜市に若い医師が注目し、集まってくるようなきっかけとなるイベントになればと期待しています。

愛媛初開催の「闘魂外来&闘魂祭り」in新居浜が成功することを心から願つてやみません。

医学生諸君、是非ご参加ください！

◆診療日についてはお問い合わせください。

※なお「闘魂祭り」については医療スタッフのみの参加とさせていただきます。



総胆管結石について

内科医長 柿本 真利

今回は総胆管結石についてお伝えします。胆汁(たんじゅう)の流れ道に石ができることがあります。胆汁は1日500から1000ml分泌され、胆嚢(たんのう)に蓄えられ濃縮されます。食事をすると胆嚢が収縮し、総胆管を通り十二指腸へと流れ出ます。胆嚢にできたものを胆嚢結石、総胆管にできたものを総胆管結石と



診療科【内科】 診療日についてはお問い合わせください。

呼びます。

総胆管結

石が症状を

起こすの

は、総胆管

に石が詰ま

り、胆汁の流れが悪くなった場合です。その時には痛み、黄疸(皮膚や白目が黄色く染まる)、感染が起こります。脂っこいものを食べると、胆嚢から胆汁が出るため、石が動いて症状が出

やすくなります。また感染が起こると細菌が血

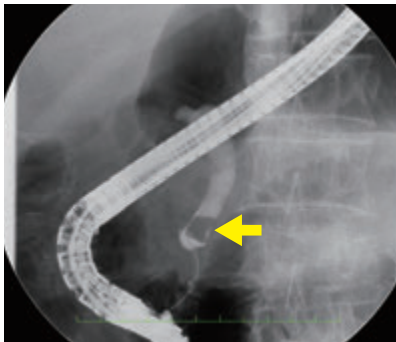
中へ侵入しやすく、重症化することがあります。

そのような場合には緊急的に治療が必要に

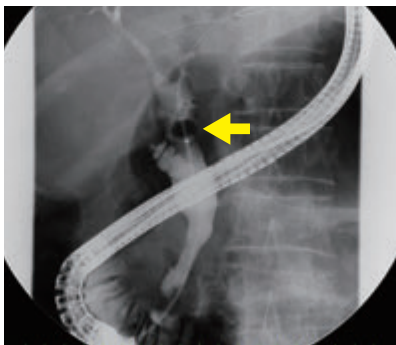
なります。

内科では年間約100件の検査を行っています。

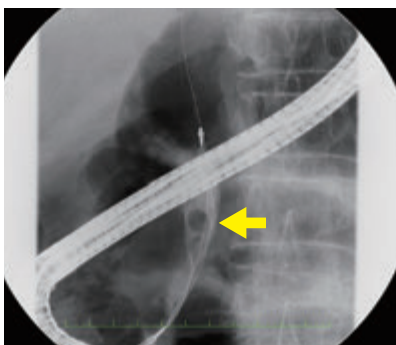
お困りの場合にはご相談ください。



造影剤を入れると、総胆管結石は黒く抜けて見えるようになります。



風船のように膨らみ総胆管内を掃除する器具です。



ワイヤーの中へ結石を引き込んで破壊します。



なります。

総胆管結石の診断には超音波検査、CT、M

RIが用いられます。それらで診断をつけた後

に内視鏡検査を行い、石を確認します。そのま

ま破壊、除去といった処置を行います。十二指

腸乳頭(胆汁が十二指腸へ出る出口)から器具

を入れて処置をします。場合によっては十二指

腸乳頭を電気メスで切開し、処置を行いやす

くします。泥のような軟らかい石であれば、総

胆管内に風船のような器具を入れ、かき出す

ようにします。大きな石であれば数本のワイ

ヤーを束ねた器具の中に石を引き込んで破壊

しますが、一度に破壊しきれず日を変えて処置

を追加することもあります。同じ総胆管結石

であっても患者さんごとに重症度、緊急性、難

易度は異なります。

内科では年間約100件の検査を行っています。

お困りの場合にはご相談ください。

白内障について

眼科医長 木村 徹



眼球には、カメラでレンズに相当する水晶体があり、光を網膜（フィルム）に相当に通しピンツトの調節にも関わって

います。しかし、その内部に変化をきたすことで混濁し、光の透過性が低下したり光の散乱により視力低下を生じます。

いわゆる「白内障」と呼ばれるものですが、原因としては先天的なものと後天的なものがあります。先天的なものには、遺伝、代謝異常、薬物、胎生期の感染などありますが、その半数は不明です。幼少期の発達段階での白内障は視力発達に影響するため、早期手術の適応となります。

また、後天的には、頻度として多いのは加齢性によるものですが、他にも、糖尿病性、併発性（ぶどう膜炎・網膜色

素変性・アトピー皮膚炎などに合併）、薬物（ステロイド薬長期投与・痛風治療薬など）、全身疾患に合併（筋緊張性ジストロフィー・脂質代謝異常など）、外傷などによるものがあります。

症状としては、スリガラスを通して見たような霞みや、明るい所でのまぶしさの増強、物がにじんで見えるなど様々な症状を感じます。

治療は、初期では進行を抑える目的での点眼もありますが、実際に進行を予防することは難しいのが現状です。視力低下が進行し、自覚の悪化や合併症誘発が危惧される場合、また、生活に支障をきたすような場合は、治療が考慮されます。

手術加療が根本的治療となりますが、前述のような症状を感じるようであれば、一度、眼科受診をお勧めします。

今春より、当院眼科においても1泊2日（片眼）での白内障手術を開始致しますので、お気軽に眼科外来に御相談ください。



日野医師の診察

◎診察日【整形外科】

●火曜日／
午前 8 時45分 ~ 12 時

診察希望の方はお問い合わせください。

対外活動委員会 第28回健康講座の報告

膝を治そう、旅行へ行こう

平成28年2月18日(休)午後3時より、別子記念図書館にて『膝を治そう、旅行へ行こう』と題して、愛媛大学医学部附属病院 整形外科特任講師、(同)人工関節センター 研究開発部門部長、十全総合病院 整形外科非常勤医師 日野医師による健康講座を開催しました。一般の方を対象に160名を越える方が参加されました。

加齢とともに減少する『軟骨』『骨』『筋肉』についての話に続き、それによって陥り易くなるロコモティブシンドローム（運動器の障害のために移動機能の低下した状態）、サルコペニア（筋肉量や筋力が著しく減少し寝たきりに至る危険が高い状態）について注意喚起がなされました。

次に膝の構造や靭帯の働き、人工関節の手術について詳しく説明され、術後症状の改善した患者さんの歩く様子が動画で紹介され、受講者から驚きの声が上がっていました。

がっていました。

最後に具体的な筋力トレーニング方法を挙げ、「今から“骨々と貯筋”をしてほしい、旅行へ行ける楽しいシニアライフを過ごして下さい。」と締めくくりました。

講演後は質問が多数上がり、大変充実した医療講演となりました。



ほほえみ
医療メモ

地域医療連携における 病院情報システムの今後の期待

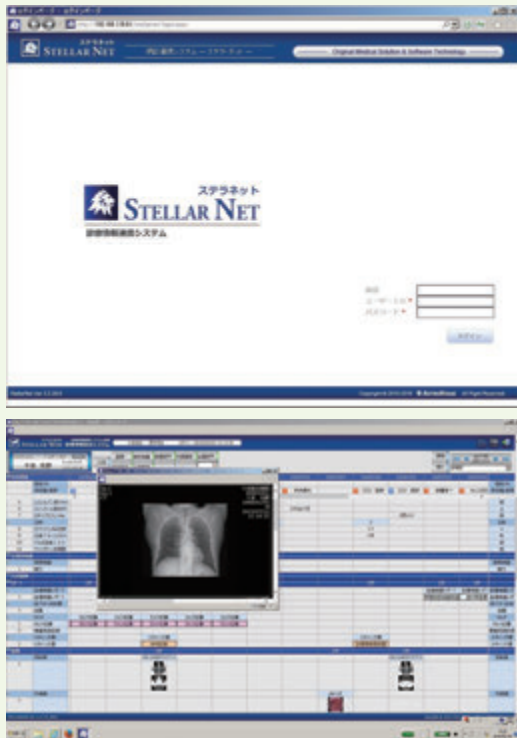
— 事務次長・情報システム管理室室長 荒井 恆治

当院では診療録を電子データで保存させていくいわゆる「電子カルテ」を2003年より稼働させています。そして昨年より新居浜市内4病院ともこの電子カルテシステムが稼働し始めました。

街中では携帯電話がスマートフォンに取って代わろうとしており、他の業種ではインターネット網を利用して業務を効率よく行うICT化がどんどん進んでいます。またコンピューターによる人工知能を利用したロボットの導入など産業界は大きく変化しています。そのなかで医療・介護業界はその業務の特殊性につきICTやICT利用が特に遅れた分野となっていました。

いま現在、ICT技術を利用して病院内での業務の効率化が整備されつつあります。このような中、地域の医療連携においても医療情報データの連携が待望されています。

2025年がピークを迎えること



いわれる超少子高齢化社会に向けて地域の医療・介護のあり方が大きく様変わりして行く中で、医療情報の取り扱いにおいても連携の必要性が話題となっており、当院ではそれに対応するため、他県でも医療情報連携に実績のある患者情報連携システム「ステラネット」に当院の電子カルテシステムを対応させました。

今後、愛媛県や新居浜市の医療行政における地域連携の取り組みに期待しています。

第6回 十全ICLSが開催されました。

手術室 塩崎 由美

平成28年1月31日(日)に十全総合病院で、第6回十全ICLSが開催されました。今回は院内の看護師4名、放射線技師1名、消防署の救急救命士1名が受講しました。

今回で6回目の開催となりますが、徐々に十全

ICLSの認知度も高まり、院内スタッフだけではなく、院外からの受講生も増えています。当日は受講生、スタッフ共に明るい雰囲気の中で楽しく学ぶことができました。

今後もICLSで学んだことを現場で活かせるように頑張りたいと思います。





こどもリハビリテーション室

平成28年4月開設

発達面・行動面などにおいて、心配のあるお子様、障がいのあるお子様を対象に心身の両面から発達を考えつつ、日常生活場面での支援に取り組んでいます。



こどもリハビリテーション室

こどもリハビリテーション室では、主治医(小児科医、整形外科医)からの指示のもと、作業療法士、言語聴覚士で、身体・認知・言語機能に対するリハビリテーション、発達検査、日常生活面におけるアドバイス、などを実施しています。



リハビリをご希望される場合

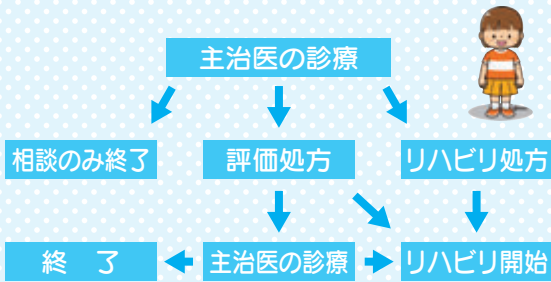
主治医(小児科、整形外科)の受診が必要ですので、一度、当院にご連絡ください。

お子様に関する情報を伺わせて頂きます。他病院からのご紹介の場合は、紹介状をご準備ください。

その他ご質問・ご相談等ございましたら、遠慮なく小児リハビリスタッフまでお尋ねください。



リハビリ開始までの流れ



リハビリテーションについて

こどもリハビリテーションは、すべて予約制になっております。

1回のリハビリ時間は、60分程度です。

※ご家庭の都合・ご希望で60分未満、検査・評価、相談業務で60分以上実施する場合があります。



お問い合わせ先

こどもリハビリテーション室

作業療法科：藤井



ほほえみ
医療メモ

LCAP療法（白血球除去療法） について

— 透析室

「潰瘍性大腸炎とは？」

何らかの原因で刺激を受けた白血球が活性化し、炎症に関わるさまざまな物質を放出することにより腸粘膜が炎症を起し、ただれや潰瘍が出来る病気です。

初期は下痢や腹痛、粘血便等の症状があり、進行すると発熱や体重減少などが現れます。これらの症状は、緩和と悪化を繰り返すことが多く長期に付き合っていくこともあります。

いくつかある潰瘍性大腸炎の治療法の一つとしてLCAP療法（白血球除去療法）があります。

LCAP療法とは、白血球や血小板を取り除き炎症を速やかに鎮める治療法です。重症、劇症及び難治性の潰瘍性大腸炎において、活動期に病態の改善や寛解期導入を目的に行われています。

ただし、ACE阻害薬（高血圧の治療に用いられる薬の一つです）を服用している方は血圧低下、しびれ、熱感などのショック症状を起こすことがありますので受けられません。

治療の流れは、まず血圧などの体調

チェックを行ないます。次に少し太めの針を2本刺し、一方から血液を体の外に取り出し、フィルターを通し白血球などを除去した後、もう一方から体へ戻します（約1時間）。治療後しばらく安静にし、止血や体調の変化を確認します。これで、1回の治療が終了です。

治療スケジュールは1〜2回/週、10回（劇症は11回）を1クールとして行います。症状・病状により2クール行うこともあります。

LCAP療法の臨床試験では、70%以上の患者さんに潰瘍性大腸炎の主な症状である「血便」「腹痛」「潰瘍」が改善したとのデータがあり効果が認められています。

日常生活においては、特に注意することはありませんが、LCAP療法期間中は十分な休養と睡眠をとることが大切です。



参加費・参加
申し込み不要

糖尿病教室のお知らせ

日時 毎週水曜日 午後2:00～

場所 外来棟3階 カンファレンスルーム

ポカポカ陽気になりました。お花見に出かけませんか。きっと、新しい発見がありますよ。



食事や運動など普段疑問に思っていることはありませんか？是非この機会に解決しましょう。

梅雨は何かと体調を崩しやすい時期です。糖尿病教室に参加して自分に合ったできることを見つけてみましょう。



開催日	内容	担当
4/6 (水)	糖尿病って どんな病気？ 糖尿病と上手に 付き合おう	内科医師 看護師
4/13 (水)	検査のあれこれ！ 食事は どうしたらいいの？	臨床検査技師 管理栄養士
4/20 (水)	あなたの眼大丈夫？ ～糖尿病性網膜症に ついて知っておこう～ お薬の種類を教えてください	眼科医師 薬剤師
4/27 (水)	体を動かそう (実践編) ～自分にあった運動を 見つけよう～	理学療法士

開催日	内容	担当
5/4 (水)	お休み	
5/11 (水)	もう怖くない低血糖 ～正しい対処法を知ろう～ 食物繊維を しっかりとろう	看護師 管理栄養士
5/18 (水)	私にもできる 運動ってあるの？	理学療法士
5/25 (水)	カンパセーション マップ すぐろくのような地図を囲んで、 糖尿病の知識や体験を話し合い、 糖尿病について楽しく学びます。	担当スタッフ

開催日	内容	担当
6/1 (水)	糖尿病と診断されたら ～治療編～ 血糖値を測ってみよう	内科医師 臨床検査技師
6/8 (水)	正しく磨いて健康生活 しめじ・えのきを知っていますか？ ～糖尿病合併症～	歯科衛生士 看護師
6/15 (水)	嗜好食品は上手にとろう インスリン注射について 聞いてみよう	管理栄養士 薬剤師
6/22 (水)	運動についてのお悩みありませんか？	理学療法士
6/29 (水)	すぐろくゲームで 糖尿病を学ぼう	担当スタッフ

どなたでもお気軽にご参加ください。お申し込みは不要です。 ※都合により内容が変更になる場合があります。

院外医療講演の報告

高齢者と薬について

2月8日(月)午前10時より、中萩公民館において『高齢者と薬について』と題して、薬局長・小笠原充による医療講演を開催しました。受講者は18名でした。

日本人の平均寿命が上がることで高齢化がかつてないスピードで押し寄せていることが、現在の医療財政を圧迫している事実を詳細なデータで紹介され、薬は大事な医療資源であることを説明されました。最近では病院で貰った薬を他人・身内にあげることが多く注意喚起もされていました。

平均寿命が男性80歳、女性87歳と発表されている中、大事なのは平均寿命よりも健康寿命であること、健康寿命を延ばすためにも薬についての正しい知識を持ち、セルフメディケーションを实践して欲しいとの講演で



最近知られつつあるジェネリック医薬品についても触れられ、講演終了後も受講者から質問があり充実した医療講演となりました。



発達障害をもった子どもたちの特性と理解

12月14日(月)午後2時より、新居浜市役所において『発達障害をもった子どもたちの特性と理解』と題して、作業療法科藤井雅之による院外医療講演を開催しました。公立保育園主任保育士8名の方が参加されました。

幼児期に必要とされる関わりや支援について、参加者から事前に質問された内容に答える形で講演がありました。

発達障害の子どもたちを前に日々奮闘されている先生方から「こだわりを持つ子どもたちの切り返え方」「お箸を持つようになるには」「就学支援について」など多数の質問が出されました。

まず発達障害とは何かを軸に、メカニズム・画期的な新薬の開発について説明がありました。また、自閉症の子どもたちは「こだわり

が強い面がありますが、「こだわり」ことには実は理由があり、本人が「納得すること」で次に進むことができる、関わりをもつ人の支援の方向が正しければ子どもが伸びる、とのことでした。講演後は先生方の顔も晴れられ、大変有意義で充実した医療講演となりました。



助産師募集

院内保育・時差性勤務等あり!
お気軽にご相談ください。

看護師寮 ワンルームマンションタイプ(UB・冷暖房完備)
研修等 スキルアップ、認定資格取得、学会出張への支援あり

お問い合わせ TEL(0897)33-1818(代) 看護部 八木・総務課 矢野まで

看護補助者募集

療養上の世話や環境整備等のやりがいのある仕事です。
無資格の方にも丁寧に指導します。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ TEL(0897)33-1818(代) 看護部 八木・総務課 矢野まで

薬剤師募集

チーム医療に積極的に参加!
明るく楽しく働きましょう!

チーム医療 化学療法管理委員会、緩和ケアチーム、糖尿病サポートチーム、感染対策チーム、
栄養サポートチーム、病院食対策チーム、褥瘡対策委員会、輸血療法委員会など

お問い合わせ TEL(0897)33-1818(代) 薬局 小笠原・総務課 矢野まで

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれもご遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いたします。 病院長

移動図書館 青い鳥号



来院予定日

4 / 13水・27水

5 / 18水

6 / 1水・15水・29水

来院時間 午後3:10～3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

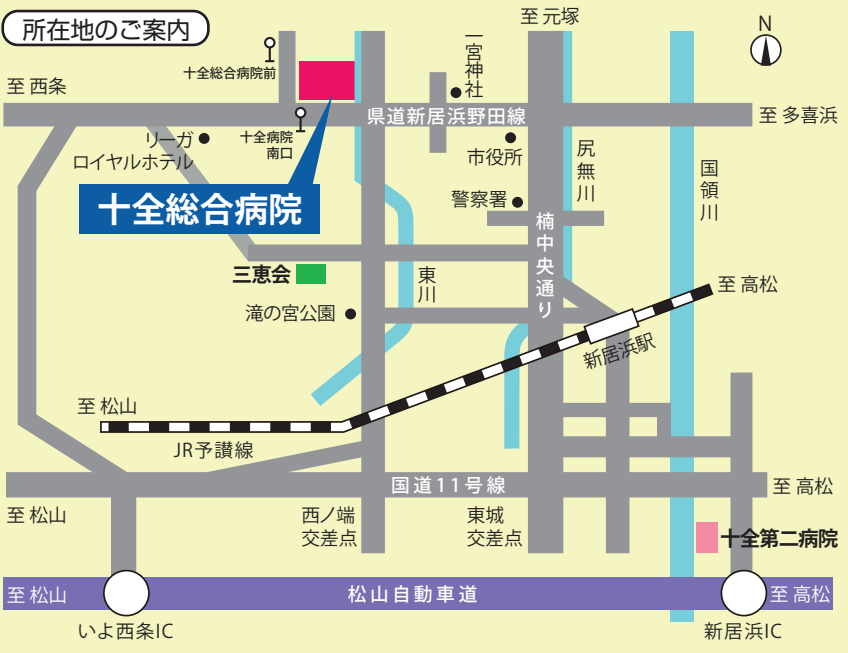
患者さまの権利

私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。



交通のご案内

- 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272台収容可能】
- 《バス》瀬戸内バス……「十全総合病院前(広瀬→多喜浜線)」下車
「十全病院南口(今治→マイントピア別子線)」下車
- 《JR》JR予讃線……新居浜(にいほま)駅下車、タクシーで約10分

一般財団法人 積善会 十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>

編集 広報誌編集活動委員会



未来が変わる。日本が変わる。
ストップ! 温暖化

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の育成校は【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全第二病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。

●社会福祉法人 三恵会

- 子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話を行っています。
- | | |
|----------|---------------|
| 総合福祉施設 | やすらぎの郷 |
| 介護老人福祉施設 | ハートランド三恵 |
| 介護老人保健施設 | リハビリステーション三恵荘 |
| 介護老人保健施設 | 希望の館 |
| 障害者支援施設 | 三恵ホーム |
| 児童福祉施設 | 十全保育園 |
| 総合福祉館 | コミュニティハウス三恵 |
| 福祉館 | 恵海 |
| 児童福祉施設 | 中萩保育園 |
| 養護老人ホーム | 新居浜市立慈光園 |



環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。